

「難病をお持ちの方の就労に向けて」

60代半ばで一人暮らしのAさんは、建築関係の仕事に30年近く就いていました。しかし、3年前から仕事中の眩暈や、買い物中のふらつきといった症状が出始め、時には突然意識がなくなり転倒することもあり、退職せざるを得なくなりました。退職後は生活保護を受けながら暮らしていましたが、病院でパーキンソン病(指定難病)の診断を受け、将来に対する不安から家に閉じこもりになられていました。

その後も足腰が弱くなることや眩暈が続いていた為、ご自身の体調が優れない際は、 近隣に住む娘さんが食事の準備等をされていました。昨年、娘さんにお子様が生まれ、 初孫ができたことで外に出て何か活動をしていきたい、という前向きな気持ちになり、 家の近くにあった就労継続支援B型事業所に通ってみたいと相談に来られ、ご本人の意 欲や体調などをお聴きしながら障がい福祉サービスの利用に 向けた手続きを支援致しました。

現在は事業所内の人との交流やお孫さんの成長を楽しみながら箱詰め等の軽作業に取り組まれています。

障がい者地域生活支援拠点等説明会

令和5年6月19日なみきスクエアにて、 東区・博多区合同の説明会を開催しました。

地域生活支援拠点とは…障がいのある方の 重度化、高齢化や「親なき後」の生活の安心 も見据え、地域生活への移行や地域生活の 継続を推進し、障がいのある方が住み慣れた 地域で安心して暮らしていけるように、次の 5つの居住支援機能を整備するものです。

- ①相談
- ②緊急時の受入れ・対応
- ③体験の機会・場の提供
- ④専門的人材の確保・養成
- ⑤地域の体制づくり



- De .

福岡のFMラジオ局 COMI×TEN で基幹センターの仕事を紹介させて いただきました

事業所紹介 <u>就労継続支援A型</u> 『**晴れる家** 』



元町に店舗を構える事業所で、お昼の定食屋さんをされています。 から揚げ定食や、ちゃんぽんなどのランチメニューの他に持ち帰りのメニューも あり、定番のから揚げ弁当やちゃんぽん、カレーなどを持ち帰りできます。 土日祝などの休日は、春日公園でもお弁当を販売しているので

春日公園にお越しの際はぜひご利用ください。

こちらの事業所では身体障がい、知的障がい、精神障がい者の方達が働いており

皆さんやる気のある方達ばかりとのことです。 お客さんからの「ありがとう」「美味しかった」 の声が働いている方々のやりがいになって

います。

住所:福岡市博多区元町2丁目1-8-1

電話:092-558-2406 ※最寄り駅はJR南福岡駅

筑紫通沿いにお店があります



シンボルマーク紹介



ハート・プラスマーク

このマークは、"身体内部に障がいがある人"を表しています。

心臓、呼吸機能、じん臓、膀胱・直腸、小腸、肝臓、免疫機能等身体内部に障がいをお持ちの方は、外見から分かりにくい為に電車やバスの優先座席や障がい者用駐車スペースを利用する際、誤解を受けることがあります。

このマークを見かけた際は、内部障がいの方へのご理解とご協力をお願いします。

お知らせ

第28回福岡市障がい者 スポーツ大会

9月30日(土)博多の森陸上競技場にて開催されます。障がいのある人が、初心者から上級者のレベルの人まで幅広い年齢層にわたり、20~1500m競争・跳躍・投てき等のスポーツに参加し健康や体力維持、自己の可能性へ挑戦するとともに障がい者スポーツへの理解を深めることを目的とされています。

一生懸命ゴールに向かう姿にはたくさん の勇気をもらいます!

〒812-0894 博多区諸岡1丁目15-22 FAX 092-589-6293

E-mail <u>daichi@center.email.ne.jp</u> <開所日>平日9:00~17:00